

環 境 年 報

平成26年（2014年）度のまとめ

我 孫 子 市

我孫子市民憲章

わたくしたちは、利根川と手賀沼にかこまれ自然と歴史にはぐくまれた我孫子の市民です。

わたくしたちは、田園教育文化都市をめざす市民としての誇りをもち、明日への願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

- 水と緑と土のにおいがいっぱいの 住みよあびこにします
- 心と体をきたえ 生き生きと働き 伸びゆくあびこにします
- 老人を大切にし 子どもの夢を育て 幸せなあびこにします
- ふるさとを愛し 文化を高め 豊かなあびこにします
- みんなで話しあい きまりを守り 明るいあびこにします

市の木ーケヤキ

昭和45年7月1日市施行を記念して指定。ケヤキは空に向かってそびえ、躍進する本市を象徴。

市の花ーツツジ

昭和45年7月1日指定。ツツジは日本古来の花で、サクラに次いで親しまれて寒暑に強く、躍進する本市にふさわしいとして選定。

市の鳥ーオオバン

昭和63年12月1日指定。オオバンは手賀沼で一年を通して見ることができ、多くの市民に親しまれ、水辺に位置する本市にふさわしいとして選定。

はじめに



本市では平成13年に、環境保全に関する長期的な目標と施策の方向性を明確にした「我孫子市環境基本計画」を策定し、環境への負荷削減、手賀沼の浄化や自然環境の再生に取り組んでいます。

手賀沼は、昭和49年から平成12年までの27年間、日本一汚濁が進んだ湖沼という不名誉な記録が続きました。その間、流域の市民の皆さまをはじめ、流域市や千葉県、国が連携して長年様々な水質保全対策を実施してきた結果、今では、手賀沼沿いの遊歩道を利用する人たちや手賀沼を利用したイベントが年々増えています。

しかし、手賀沼の水質は、環境省の平成26年度の水質測定の結果、年平均COD値が1リットル当たり7.6ミリグラムで、全国ワースト6位でした。引き続き、環境基準であるCOD値1リットル当たり5ミリグラムをめざし、千葉県に対し、湖沼水質保全計画に基づく浄化対策の確実な推進や、汚濁メカニズムの解明などの取り組みを強く求めていくとともに、市民や事業者への更なる啓発に努めます。

また平成27年には、千葉県より手賀沼親水広場の移譲を受けました。今後、水の館のリニューアルを行い、皆様により手賀沼と親しんでもらえるような施設として運営していきます。

市の第三次地球温暖化対策実行計画である「あびこエコ・プロジェクト3」において、平成26年度の市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量を基準年（平成21年度）と比較したところ、11.9%減という結果になりました。目標である6%を実現出来ましたが、今後も省エネルギー対策やごみの削減などの一層の推進に努めます。

美しい手賀沼を取り戻し、我孫子の豊かな自然環境を未来の子ども達に伝えていけるよう、これからも市民の皆さまと力を合わせ、取り組みを進めていきたいと思っております。

本書は、平成26年度（2014年度）における我孫子市の環境の現状と施策をまとめたものです。本書が環境についての認識を深めていただくための一助となれば幸いです。

平成28年3月

我孫子市長 星野 順一郎